

基本的な考えは宮崎県五ヶ瀬町での先進的な取組を参考にし、本町にあったスタイルにアレンジしました。

小学校間、中学校間の同じ校種同士の連携をYRG（横連携グループ）授業とし、中学校区ごとの小中学校の連携をTRG（縦連携グループ）授業として区別しています。

「YRG」と「TRG」の取組を詳しく教えてください。

YRG授業は、同校種間の横の連携により、学習内容に応じて適正規模の学習集団を構成し、学習効果を高めるために行う授業です。

基礎基本となる内容を繰り返し行い、確実に身につけるような学習では、個別指導を含め、より少数人数での学習が効果的です。

一方、音楽の合唱・合奏や体育のボールゲームなどは、多人数で行った方がダイナミックな活動が体験できます。理科や社会等の教科でも、関わり合いの中で多様な意見や考えを導き出したい場合は、ある一定以上の人数で学習した方が効果が高まります。



▲活発な意見交換に自然と笑顔がこぼれる

【RG授業】

学校間連携グループ授業。
学校間で、学習内容に応じて、より効果的な学習の場を創り出し、子どもたち一人一人に学力の定着を図る。



▲合唱や合奏は多人数での学習に適している

【YRG授業】

横の連携グループ。
学習内容や個々の習熟度によって、同校種間の連携で最適人数の授業を創出。

【TRG授業】

縦の連携グループ。
小・中学校間の連携による高い学習効果をねらった授業・活動。

つまり学習内容や個々の習熟度によって授業の最適人数は異なるため、授業時の実態に即して最適な学習集団を創り出すことが肝心で、町内の同学年の児童・生徒が一堂に会することに より、それが可能となるわけです。

小学校で年10回40時間、中学校で年5回20時間のYRG授業を行う予定です。

TRG授業（縦の連携グループ）は、小中学校間の連携で効果的な学習の場を創り出す取組です。総合的な学習の時間や行事などでの交流を積極的に行うことを考えています。また、児童・

生徒の交流にとどまらず、教員間の交流や施設利用などの多様な取組を行い、効果的な学習を生み出します。

「RG授業」でどんな効果を期待していますか。

RG授業により、適度な緊張感の中、一つの節目としての楽しい授業が展開され、子どもたちには多様な学習経験が保障されます。子どもたちは、学ぶ楽しさを実感しながら、確かな学力を身につけていくことになりました。また、学校の枠を越えた新しい人間関係が構築される中で、自尊心や自己有用感、自己効

力感を膨らめていくことが期待されます。RG授業は、ある意味、キャリア教育の大きな取組の一つと考えます。

町民へ一言お願いします。

教育委員会、町内の学校が丸となって教育ビジョンに取り組んでいきます。どうぞ応援してください。

また、教育は、家庭や地域が一体となって取り組むことが大切です。支援員等で学校教育のお手伝いをしてくださる気持ちのある方は、ぜひ人材バンクに登録をお願いします。



Voice01 川根本町校長会長

中川根中 小澤 敦夫
学校校長

**未来に向かって互いに高め
合う子どもを目指して**

学校は、子どもたちに「生きる力」を育み、保護者・地域の期待に応えたいと考えています。そこで小規模校の良さを生かしながら学校間の連携による最適人数の授業を実施することは、効果を子どもたち、保護者、地域の方々、そして、教職員が具体的に感じることが可能にする教育活動であると思います。

2校以上の交流では、多くの友だちと力を合わせ、競い合う楽しさを味わい、学習意欲を高めることができます。学ぶ目的や内容に応じて、人数を変えることで、子どもも教師も、共に最適人数の授業が可能になり、子どもたちの興味関心や習熟度への対応が可能です。

また、交流体験は子どもたちにはコミュニケーション能力や人間関係を築く力を伸ばし、教師は授業力を相互に高める研修となります。未来に向かって互いに高め合う子どもの育成を目指します。



Voice02 川根本町教育委員会

管理主事 宮島 明利

**RG 授業は町の良さを積極的に
活かした取組**

明るく素直で一生涯懸命学ぶ子どもたちは町の宝物。常に子どもたちと真剣に向き合う各校の教職員。学校間の連携グループ(RG)授業は、町の良さを積極的に活かした取組です。町の教職員が一体となって創り出す授業は、子どもたちにとってアイデアと工夫が詰まった楽しい授業となるでしょう。学習効果を高めるだけでなく、多様な学習経験が保障され、学ぶ意欲の向上にも結びつきます。そして、良い学習習慣が生み出されます。

特に定期的を実施する横連携のYRG授業では、町内の同学年の子どもたちが一堂に会して授業を行います。確かな学力の定着はもちろん、日常固定されたメンバーで生活している子どもたちにとって、新しい人間関係の中で、自己有有感を膨らめていくことも期待されます。試行の際に見られたキラキラと目を輝かせて学ぶ子どもたちの姿が楽しみです。



Voice03 川根本町教育委員会

指導主事 和田美代史

**子どもたちのキャリア発達
を促していく一助に**

次代を担う子どもたちが大人になる頃の世界は、私たちが想像もできないような世界になっているかもしれません。そこで、学校教育は、目まぐるしく変化する社会の中で、子どもたちが希望を持ち、自分の未来を切り拓いて生きていくために、社会の変化に対応していく力と態度を育てなければなりません。

まさに、本町の教育ビジョンの大きな柱に『キャリア教育』が掲げられている^{ゆえん}所以であり、町独自の「キャリアノート」を作成することは、児童生徒一人一人のキャリア発達の過程が、今まで以上に明確になり、義務教育九年間を通して子どもたちのキャリア発達を促していく一助になると考えています。

子どもたちが学ぶことの楽しさを通して、未体験の体験に挑戦する勇氣とその価値を体得することで、生涯にわたって学び続けることを期待しています。